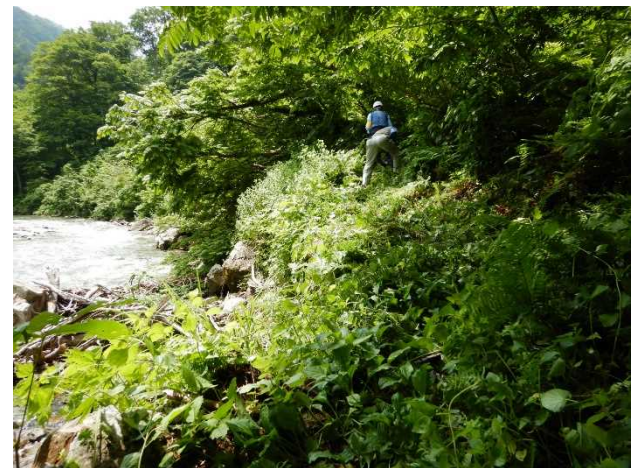
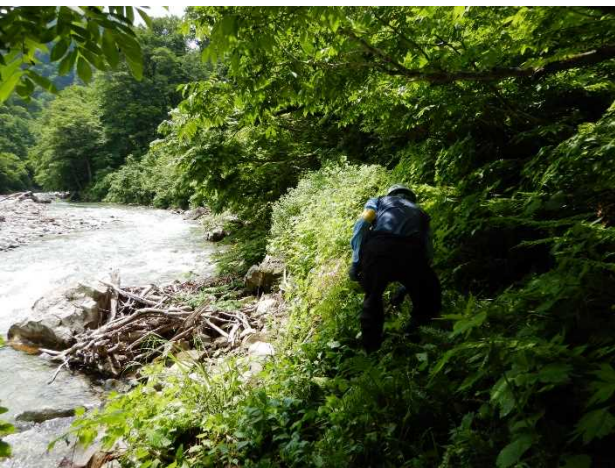


森林保護員(グリーンサポートスタッフ)の活動状況

7月3日(水) 玉川本流沿い林道～大倉コース登山道～温身平



玉川本流沿い林道。森林保護員の看板を設置しました。



大倉コース登山道。迷い易い場所の刈払いを実施しました。



貴重なタマガワホトトギスの生息地に保護テープを取り付けました。

7月4日(木) 板谷～登山口～ガレ場～1650m 地点



尾根上の標柱。熊の爪痕が残って倒れており、立て直しを行いました。



立入禁止テープが破損していたため、交換しました。



オオシラビソの枯枝が登山道を塞いでいたため鋸を使用し切り落としました。

7月6日(土) 倉手山登山口～温身平



外来種ジャスターデイジーを駆除。



桧山沢出合の吊り橋の確認。



飯豊山荘前。山開きの準備中。



タマガワホトギス蓄の食害。カモシカか。



内川林道のパトロール。



焚火の跡を発見。

7月16日(火) 板谷～滑川～姥湯～薬師森



展望台手前。路肩注意のテープが朽ちているので交換しました。



数十年前、登山道を保護する工事の際に使用した、古いボルトの頭が出ているところが数か所あります。昨年までは頭の出ているボルトに注意を促すピンクテープを巻き付けてきましたが、今回は丸太も大分腐れておりボルトもハンマーで打ち込めるようでしたので、打ち込む作業を実施しました。



歩行に支障ある枝などを鋸で取り除いてきました。

7月21日(日) 温身平



エゾアジサイ



タマガワホトギス(保護テープ取付済)



釣り人にパンフレットを配布し注意喚起を行う。



カモシカ沢雪溪崩落



入林者に熊情報を伝え注意喚起した。



犬を連れた入林者にパンフレットを配布。

7月23日(火) 白布峠～西大巖



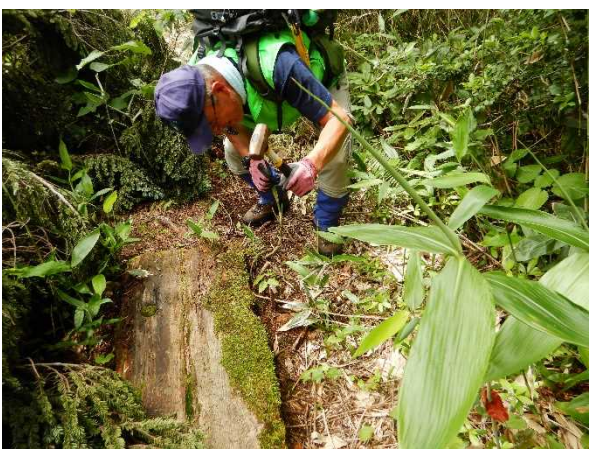
途中に以前報告の倒木あり。



鋸で倒木処理。12箇所くらいあり。



二本のアオモリトドマツが重なり合って登山道を塞ぎ通行できず。枝を少し処理してみたが手に負えないため、竹藪を鉋と鋸で刈払い迂回路を作る。



白布峠登山道の途中の階段が近年朽ち始め、押さえボルトや太い鉄筋の頭が残り危険な状態になっているため、ハンマーで打ち込み注意喚起のピンクテープを巻きつけました。